

カラフルな彩りをあしらい、ひときわ高くそびえる

ひな松ランド誕生



→この写真にスマホをかざして下さい!
母校の最新画像をバックに校歌が流れます!

AR動画でご覧いただけます。

アプリをダウンロードして上記写真をかざすと動画がご覧いただけます。
【アプリのダウンロード方法】

「App Store」または「Google Play」で【cocoar】または【ココアル】
を検索して、

パンダマークのアプリをダウンロードしてください。

*アプリは無料ですが、ダウンロードや利用時にかかる

通信料はご利用者の負担となります。

動作時間は回線速度・電波状況により異なります。

COCOAR

ココアル 検索

(ダウンロード用
QRコード↓)

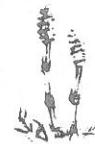
「ひなまつランド」寄附金 内訳

①卒業生	137人	7,825,000円
②保護者・卒業生	31人	740,000円
③保護者	295人	6,315,000円
④教員、その他	12人	540,000円

雛松会140周年記念事業として、2020年12月15日、「ひなまつランド」が引き渡され、完成となりました。2021年2月2日、全校生徒が参加して、お披露目会が開催されました。詳しくは4・5・6頁をご覧ください。

また、この度は、雛松会員をはじめ多くの皆様のご寄附を頂戴しました。内訳は左記の通りとなっております。

第52号



令和3年3月20日

雛松会

大阪教育大学
附属天王寺小学校
〒545-0053
大阪市阿倍野区松崎町
1丁目2-45
TEL. 06(6621)0123

<主な記事>

- ◆ひな松ランド・140周年記念式典延期 : 1面
- ◆名譽会長・会長挨拶 : 2面
- ◆附小NOW : 3面
- ◆ひな松ランド : 4・6面
- ◆雛松会・同窓生近況報告 : 7面
- ◆年会費納入者一覧 : 8面

雛松会140周年記念総会・祝賀会

来年2022年（令和4年）4月16日（土）
リーガロイヤルホテル 山楽の間 大阪市北区中之島5-3-68

※令和3年4月17日（土）に開催が予定されていた『雛松会140周年記念総会』は、新型コロナウイルスの感染状況を鑑みて1年延期となりました。

雛松ジュニア会

ジュニア会参加者の新型コロナ対策の注意点

- ・マスクを着用してください。
- ・入校時に検温、消毒をお願いします。
- ・37℃を超える発熱や、鼻水・のどの痛みなどの風邪症状が認められる場合は参加を控えてください。
- ・必ず手袋を持参して接触を防ぐようにしてください。
- ・校内での飲食は禁止します。水分は適宜摂ってください。

★平成25年卒～令和3年卒の人

日 時 令和3年3月27日(土)

AM10:00～12:00

場 所 母校(附属天王寺小学校)

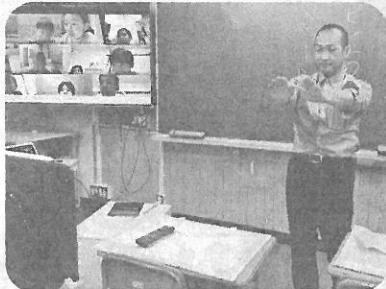
附小 NOW 近況 報告

附天小雑松会担当 和田 秀昭

新しい学校生活様式でコロナ禍を乗り越える

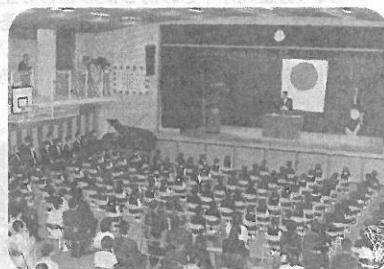
新型コロナ感染症感染拡大予防のため、令和2年3月～5月まで本校も臨時休校となりました。

臨時休校中も、子どもたちの学びをとめないよう、タブレット等を活用してオンラインで授業を継続しました。



学校再開後は、「手洗いタイム」を時間割に設け、感染予防に努めました。また、マスクを外す給食時間は、シールドを活用しました。

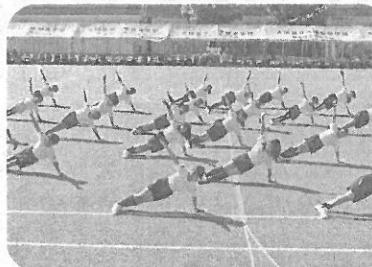
待ちに待った6月6日。初夏の入学式。ようやく145期生を迎えることができました。



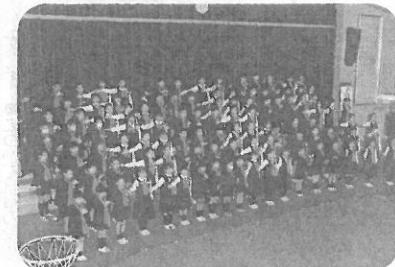
楽しかった事 嬉しかった事 思い出がたくさんできました



学校行事について、修学旅行・臨海学舎は、今年度、残念ながら中止となりました。しかし、学校行事は子どもたちの成長に欠かせないものと考え、運動会や学芸会は、学年ごとに分散して実施しました。



6年生のダンス



5年生の合唱

感染予防を入念に行った上で、学校と保護者とが協力し、夏にはプールデー、秋には附天小祭り、防災宿泊訓練を実施しました。



プールデーは、水上のレクリエーションを学年ごとに実施しました。



附天小祭りは、マスク・手指消毒等の感染予防を行って実施しました。



防災宿泊訓練は、密を避けるため、テント泊で実施しました。

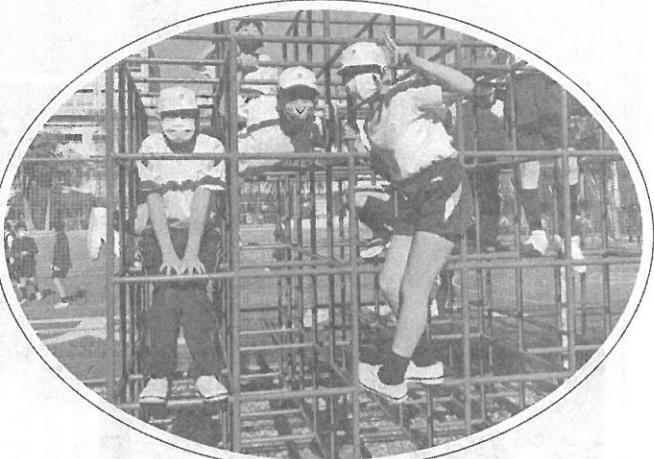
卒業生の皆様からも、マスク等の寄付をたくさんいただきました。たいへん勇気付けられました。この場をお借りして、お礼申し上げます。



ひなまつら

コロナ禍に見舞われ、何かと暗い話題が多かった令和2年の年末に、ついに、本校運動場に待望の「ひな松ランド」が落成したのです。11生、いつ使えるようになるの?と、何度も子どもたちに聞かれたことで待ちに待ったひな松ランドの階段を登ったり、大迫力の滑り台をすべて声はどこまでも明るく冬の青空に響いていました。

2月2日には、本校子どもたちが、ひな松会の役員の皆様にお礼を伝える学年も、心より「ありがとうございました」を伝えることができ附属天王寺小学校といえば…とその外観を尋ねたとすれば、「人工芝広場」そして、これからは「カラフルな彩りをあしらい、ひとさわ高くことでしょう。これから何人の子どもたちを笑顔にし、何人の子どもたちが止まりません。

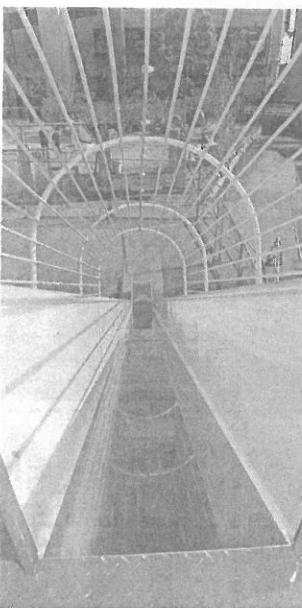


107期(昭和63年卒)

竹野元一

私の長女が入学して2年生の初めに、私も妻も小学校生で頃使っていた滑り台が老朽化のため撤去されました。それから雑松会の幹事会において滑り台復活へ向けて議論が始まりました。

しかし、雑松会だけの力ではなかなか現場の意見、感想を保護者の方々の意見、感想を集約できません。森先生、鉄口校長にもお忙しい中参加いただき、私も保護者として子供達から意見を聞き、私達夫婦(OB・OG)とその感想、想いも話を



いました。校庭が人工芝になりました。そこに遊具も整えれば、子供達は間違いなく喜ぶだろうし、卒業生としてはうれしい、しかし費用はかかり、安全性・管理面で考えれば、先生方の負担になります。いろいろな問題点が山積みであります。

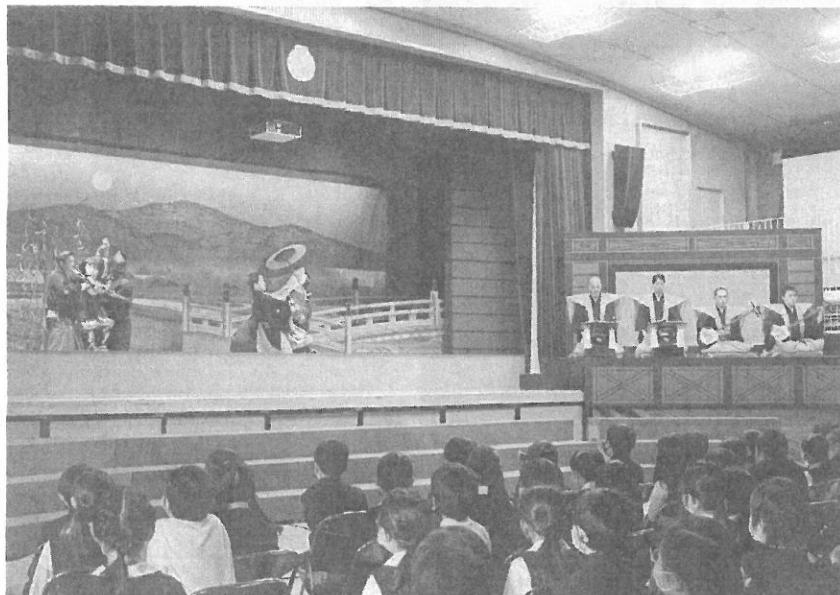
厚く御礼申し上げます。遊具が完成した日、帰宅した子供達はしばらくその話題ばかりですぐに喜んでいました。どのような様子かと聞くと、先生方がきちんと安否確保して遊びさせてくれる。すぐ人気がある。なに滑り台が楽しいコンピューションの遊具も運動になつて楽しいと言っています。先生方にも厚く御礼申し上げます。

皆様の想いで附属天王寺小学校に子供達の喜ぶ遊具を復活させることができました。費用に関しては保育者の皆様の多大なご協力がなければ叶わない夢でした。私も感無量です。ありがとうございました。

「文樂親子劇場」

令和3年3月4日(木)に、鶴松会主催の「文楽・狂子劇場」が附小で公演されました。

これまで過去5回の公演は、保護者も一緒に鑑賞していただきましたが、今年は新型コロナウイルス感染予防対策として密を避けるため、児童は講堂で生の文楽を観て、ご家族の方々さんは後日、附小ホームページ上で期間限定のネット配信をして観て楽しんでいたなどといふ方法を取りました。



65期（昭和21年卒）
小川 やす子（旧姓万年）
何時も雑松会会報をお
り頂き厚く御礼申し上げます。
昭和 平成そして令和
を長生きしたお陰で、沢山の
人生経験が出来ました。

55期（昭和11年卒）
大西 英子（旧姓 福井）

級・友・か・ら・の

近

況

報

告

お世話になりました。

95期
(昭和51年卒)

ど、ども嬉しく思いました。御連絡先等わかられば御
あいさつ状の一つも出せるのですが…。

昨年寄せられた近況報告の中から掲載しています。年に1度の会報発行ですので、タイムリーに報告出来ないのが残念です。

84期（昭和40年卒）
藤井 裕子（旧姓 優子）

84期（昭和40年卒）

1

最後となりましたか、附
属天王寺小学校と雛松会
が、これからも益々、御登
録されます事を心よりお近
り申し上げます。

下報

慎んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り致します。

宝示重美先生

昭和29年4月～昭和47年3月
令和2年 ご逝去

令和2年度

年会費納入者氏名

(令和3年2月5日現在・敬称略)

特別賛助会員

菊野 紗子・山本 敏子・寛 礼子・岸本 光正・鏡 高一善・安田 美津子・西川 雅夫・村田 秀穂・木下 吉信・尾崎 西村 泰彦・竹野 元二・竹野 悠佳・吉村 計三

賛助会員

大西 英子・秋田 光哉・岩田 由季・浦川 信司・淺田 浩樹・淡田 泰男・巣川 力彰・辰野 守彦・入江佑子・小林 文博・河島 彦明・宮崎 銀次・岡崎 大吉・安田 翼・柴谷 一慶

昭和11年卒
津上 和子・相馬 和子・大西 英子昭和12年卒
須川 天美江昭和13年卒
伊豆野 和子昭和14年卒
菊池 富美子・坂部 葵子昭和16年卒
田辺 悠紀子昭和17年卒
脇尾 錢一・綿奈部 喜代・柴谷 一慶昭和18年卒
伊藤 欣一・田村 新十郎・永田 夏雄・菊野 紗子

伊加利 勝昭・尾形 丈二・塘 二郎・横山 清恵子

昭和20年卒
三宅 克彦・小町 純子昭和21年卒
土肥 孝治・小川 やす子・山本 敏子・寛 礼子昭和22年卒
三宅 正彦・浅村 嘉代子・石原 さよ子昭和23年卒
山赤 尚子・豊田 光子・峯川 啓・青木 廉子昭和24年卒
石川 一喜・志田原 真弓・河島 明彦・細原 孝子・白川 知子昭和25年卒
岩田 由歩・高岡 伸一・竹田 練三・三木 徳五郎・森 伸三・中林 昌子昭和26年卒
城戸 川義・松井 精朗・乾 登美子昭和27年卒
後藤 忠修・閑岡 大吉・奥村 桂子昭和28年卒
眞之・川端 孝芳・西田 尤俊・山田 正夫・山畠 真理子・新井 和惠・鶴松 真子・名村 田 耕一・大迫 一子昭和30年卒
北畠 鶴雄・藤本 圭一・北野 公造・鏡高 一善・曲田 秀男・山根 勇・武田 勝年昭和31年卒
北沢 一紀・小山 雄・武藤 邦弘・安田 美津子・川岸 正裕・新田 長彦昭和33年卒
矢野 春江・糸原 和子・百山 妙子・戸川 瞳子・本多 恵子

昭和34年卒

小西 克彦・酒井 秀夫・佐久木 義之・並川 俊一郎・山内 良介・森本 忠精・河井 族一・宮原 孝雄・河野 道子

昭和35年卒
美恵子・里村 裕昭和36年卒
石川 博・河合 隆蔵・三上 修司・有岡 雅行・栗林 守夫・西川 雅夫・米津 精文・伊藤 泰子・岡本 明剛・海野 優子昭和37年卒
石原 義久・宮原 雅明・吉川 建夫・鍵井 雅三・北條 順子・山田 妙・安東 佐紀子・中野 佳則・三上 裕司昭和38年卒
花房 俊昭・石谷 隆子・藤井 有利子・角谷 景司・能勢 一平・平田 廉一・宮浦 徹・西原 真佐子・中山 真理子・市川 順一・日野 和輝・三橋 泰子・神波 美由香昭和39年卒
酒井 一雄・深川 信・佐野 英隆・四富 義久・辰野 守彦・吉川 善典・松鶴 由美子昭和40年卒
江田 昌平・北川 雅則・白江 鮎郎・村田 秀樹・山瀬 星起子・安宅 千浩・浅田 泰男・安田 公治・若山 雅・勝井 佑子昭和41年卒
松尾 厚・大垣 和永・杉田 善彦・三上 淑子昭和42年卒
山野 正博・山野 しおり・吉村 計三昭和43年卒
坂井 良郎・平井 健三郎・山口 英行・菅尾 光子・中出 安子昭和44年卒
阪口 圭一・松本 圭昭和45年卒
近藤 醇子・若山 由紀子・浅野 隆子・岩田 以津子昭和46年卒
野野 一郎・猪俣 賢・坂井 紀子・坂本 雅生・浦川 信司・中出 雅治昭和47年卒
寺嶋 知史・柳本 邦雄・渡邊 緑子・浜田 優子・鈴木 晴子・牛込 優・佐野 隆久・高地 義幸・保田 健・伊丹 由美・香川 直子・小橋 瞳子昭和50年卒
川柳 康史・富井 寿俊・松村 恵造・木岡 哲郎・金剛 二美・中田 秀夫・伊藤 裕子・山田 慶利子・寺井 智子・岡 貞史・近藤 雅彦・橋村 伸一・平田 修一・平田 健・平田 健・正木 裕子・榎本 洋子・高崎 院子・方武 努昭和51年卒
中島 敏・浜田 康・春日井 孝明・川名 あかね・内田 洋子・平田 青子昭和52年卒
山中 邦・中嶋 球子・藤井 英彦・澤井 里香子・井上 刚一・太田 祥彦・谷口 緑英・多屋 良一・村上 正昭昭和53年卒
門田 嘉久・徳井 幹也・福田 昌史・井上 佐代子・

◎令和元年度も多くの方々から年会費を納入していただきました。感謝申し上げます。

◎事務処理上、誤り・脱落もあるかと思います。お気付きの方は雑誌会事務局までFAXにてご連絡ください。(FAX06-6771-6116)

◎令和2年度の会費は別記の様になっております。重ねてご協力をお願いします。

柳原 順代・赤尾 滋樹・江村 成就・古賀 徳彦・朝裕・西村 泰彦・宮 浩久・森沢 貴紀

昭和54年卒
上嶋 亮・池田 希与子・小高 恵・興 宣夫・大石 賀美昭和55年卒
安達 利・天野 伸一・芦田 裕史・津村 一也・中島 順介・藤井 茂彦・田中 玲子・猿 芳明・津田 雄久・橋本 賢一郎昭和56年卒
小林 博文・凌野 文香・齋藤 崇吉昭和57年卒
大西 真理子・國重 賴子昭和58年卒
井和 登史子・桑村 歩・中野 光典・中村 玲子昭和59年卒
高嶋 晃駕昭和60年卒
井和 登史子・桑村 歩・中野 光典・中村 玲子昭和61年卒
高橋 文明・奥野 健太郎・谷崎 貴士・岡室 俊之・高橋 智宏・筆 勝史・上田 康生・安田 幸嗣昭和62年卒
高嶋 晃駕・桑村 光昭和63年卒
小南 安輝・竹野 元二・松井 久恵平成元年卒
上田 順宏・坂田 尚英・飯田 修・福井 良太郎・安田 正治・坂井 正雄・鷹川 慶子・橋本 昌直平成2年卒
岡田 露香・多田 智・三上 典子・和田 充弘・森谷 由加子・野 小鶴子平成3年卒
村田 大樹平成4年卒
藤井 智子平成5年卒
竹野 悠佳・錦織 有史平成6年卒
新堂 昌宏・石丸 淑恵平成7年卒
中嶋 平治平成8年卒
土佐 純子・加藤 明俊平成9年卒
曾尾 英祐・中尾 一浩・小林 弘樹平成11年卒
白石 将太郎・新堂 依子・伊丹 高顕平成12年卒
松浦 文彦平成13年卒
新堂 顺久・黒田 美紗子・辻 瞳子・入江 佑子・中尾 美沙緒平成14年卒
松浦 幸弘・前田 由可子・長谷川 綾乃・白江 素子・中村 晶子平成15年卒
白石 将太郎・新堂 依子・伊丹 高顕平成16年卒
新堂 顺久・黒田 美紗子・辻 瞳子・入江 佑子・中尾 美沙緒平成17年卒
松浦 幸弘・前田 由可子・長谷川 綾乃・白江 素子・中村 晶子平成18年卒
白石 将太郎・新堂 依子・伊丹 高顕平成19年卒
白石 将太郎・新堂 依子・伊丹 高顕平成20年卒
白井 明睦・八十 まゆき・麻 大輔・大田 潤之介平成25年卒
井上 裕貴・櫻家 純希・角 龍蔵・中村 繁佑・岡田 幸展・川野 太翔・杉岡 健悟・竹崎 雅輔・馬場 売輔・松川 巧・伊庭 奈々子・工藤 夏木・小林 真子・下伊豆 朱音・山本 優芽・池邊 亮輔・上村 佑真・金 悠士・象野 聰昂・川本 真央・野間 光葉・伴 奈菜加・山本 紗也平成26年卒
齊藤 岳・奥 朝夕花・小門 巧・鶴田 實賀・藤居 佳来・宮崎 利和・上田 直輝・浦井 綾乃・小杉 真理子・中江 紗乃平成27年卒
高岡 仁勝・辻野 友朗・桑野 日菜美・出合 あゆみ・篠塚 大輝・河野 豊美・杉岡 千賀・田中 彩絵・光岡 真里・川口 順太・中野 中室 利・伴 瞳汰・藤川 力形・藤原 橋・吉田 典承・依岡 功樹・土肥 久恵・野尻 愛理平成28年卒
伊藤 忠貴・梶原 正道・藤原 寛章・榎並 有香・吉澤 香否・鶴倉 一成・寒川 横乃香・馬場 礼佳・天野 秀一郎・加藤 大生・原田 妻平成29年卒
阪本 腹牛・山本 菅生・高木 純奈・平康・花乃子・山下 紗矢・高橋 大樹・西村 公祐・橋本 美穂・福島 未来・星 望月・佐野 由井子・千明・奥 梨々花・鈴木 亮里・鶴田 采明・由岐中 こころ・石川 曾博・清井 穂太・鶴倉 生・光岡 順良・伊東 埼・岡村 百笑・鈴木 理子・相輪 朝佳・出合 郁・難・中野 球希・村岡 怜央・矢倉 和暖・山口 順裕平成30年卒
阿部 尚紀・児玉 桐子・柴田 純人・安田 翼・岩井 伸子・高橋 伸一・鈴木 伸一・木下 木下・下伊豆 朱音・山本 優芽・池邊 亮輔・上村 佑真・野間 光葉・伴 奈菜加・山本 紗也平成31年卒
上田 悠貴・坪井 統哉・吉田 悠生・大野 桂司・中野 壮大・舟橋 直生・川川 岐蘭・上玉利 結華・上水流 拓海・小西 義治・藤澤 知世令和元年卒
岩崎 朝翠・村上 喜彦・渡邊 真隆・白江 倫子・尾全員

雑誌会会計令和元年度収支計算書

平成31年4月1日~令和2年3月31日
会計幹事 清野 波浪

令和3年度年会費について

●同封の払込用紙をご利用下さい。

●30才以上の正会員の方は3,000円です。

●30才未満の正会員の方は2,000円です。

ご協力ををお願いいただけます方には、贊助会費・特別贊助会費を設けております。よろしくお願ひいたします。

●贊助会費は5,000円、特別贊助会費は10,000円です。

●令和2年度卒(令和3年3月卒)の方は全員年会費を別途いただきますので、払い込みは不要です。

●同封の年会費払込用紙には、会員番号が印字されていますので、ご確認下さい。(氏名右下バーコード横の7桁の数字)

○○○一○○一○○ (例、平成18年卒6年3組40番の方)
↑ ↑ ↑ ↑
昭和・3卒業年 クラス 出席番号
平成・4
令和・5
418-03-40

●通信欄に近況報告等をお書き下さい。会報次号でご紹介します。

郵便振替 大阪00960-2-27966雑誌会宛

・年会費、貸金返済	1,701,866	郵便払込	573 口 会員元年度会費	1,692,966 円	
直接納入	12 口	4	40,000 円		
入会金	3,000 円 × 101 名 =	303,000 円			
年会費	2,000 円 × 101 名 =	202,000 円			
・預金利息	768 円	1年定期	764 円		
				4 円	
小計	2,207,764				
の					
前年度からの繰越金	8,654,181	定期預金(口座番号 001B622) 1年定期	6,645,463 円		
		普通預金(口座番号 115873)	888,214 円		
		預払金(口座番号 001B622)	0 円		
		普通預金利息	58,000 円		
		定期預金利息	1,701,604 円		
		名簿会員 会員登録料	-303,000 円		
		会員登録料(31年3月会員登録料3000×101名)	-303,000 円		
		会員登録料(前受会員登録料3000×101名)	-202,000 円		
合 計	10,861,945				
・会員登録料	398,365	会員登録料	398,365 円		
支 額	147,141	郵便料	74,144 円		
・郵便料	895,573	会員登録料	895,573 円		
出	1,404,837	会員登録料	1,404,837 円		
出	名簿管理料	118,800	郵便料	118,800 円	
出	218,292	ジュニア会員料	218,292 円		
の	170,000	会員登録料	170,000 円		
の	400	ファイル代	400 円		
の	686	振込手数料	686 円		
の	0	会員登録料	0 円		
合 計	3,958,099				
次年度への繰越金	7,263,840	定期預金(口座番号 001B622) 1年定期	5,646,257 円		
		普通預金(口座番号 115873)	90,000 円		
		定期預金	58,000 円		
		名簿会員 会員登録料	1,144,101 円		
		前受会員登録料(3月会員登録料3000×101名)	-303,000 円		
		会員登録料(3月会員登録料2000×101名)	-202,000 円		
合 計	7,263,840				